

## ■ NGC4565


**NGC 4565**

 Ultra-high-sensitivity HDTV I.I. color camera (NHK)  
 Exp. 16 sec. (16 frames coadded) January 16, 1999

 Subaru Telescope, National Astronomical Observatory of Japan  
 Copyright © 1999, National Astronomical Observatory of Japan, all rights reserved

★我々の銀河系を真横からみると、かみのけ座の方向、距離約3100万光年にあるこの銀河のように見えるだろう。1970年代の末に木曾観測所のシュミット望遠鏡で撮影したこの銀河の画像を詳しく調べた濱部 勝氏（現日本女子大教授）によると、その中央部の膨らみ（バルジ）は普通の銀河とは違ってピーナツ型をしているという。当時は観測というと、ガラス乾板にダイヤモンドカッターで切り目を入れて折ったり、露出し

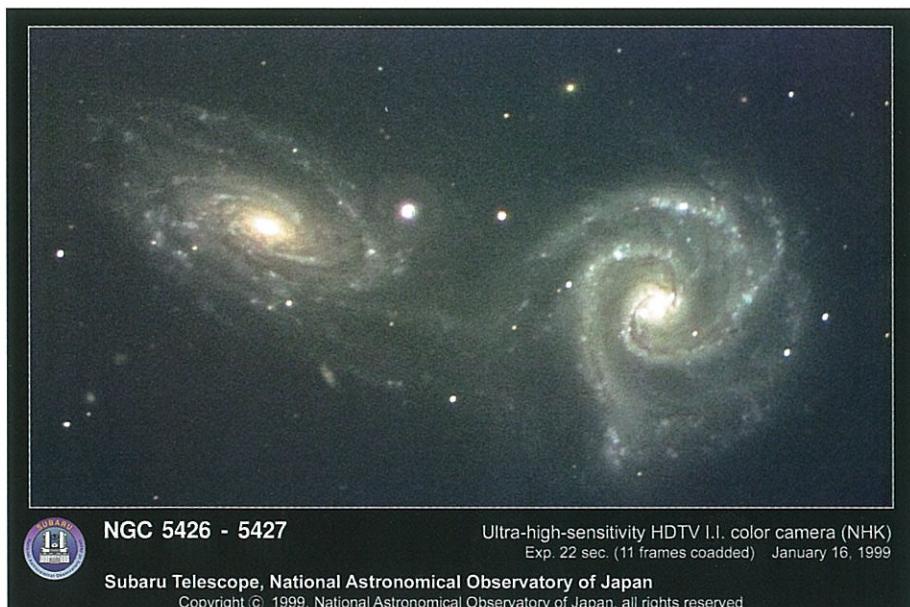
た乾板を暗室で現像することから習ったものだが、1980年代後半からは計算機室に籠もったままCCDカメラでデジタル観測を行うスタイルに急速に移行した。暗室での現像の話などすると、最近の大学院生からは「化石」扱いされそうだ。いや、化石という表現自体が通じないかな？

（光赤外研究部教授 家 正則）

## ■ NGC5426, 5427

★バルツを舞うペアーのような華麗な渦巻銀河の組だ。渦巻きが銀河の自転に対して巻き込み型か、ほどけ型かについては1970年代に一大論争があった。NGC4567と4568の銀河対（先月号で紹介）と同様にどちらも渦巻きは逆S字型になっている。渦巻きがS字型に見えるか逆S字型に見えるかは銀河面をどちら側から見るかによるので、それ自身は物理的意味は無い。銀河の自転の向きがランダムならば揃っている対と逆向きの対の割合は統計的には同じはずだ。だが、有意な偏りがあれば銀河の形成の歴史を反映していると考えられる。以前、筆者らが調べた範囲では有意な偏りは見つからなかった。

（光赤外研究部教授 家 正則）


**NGC 5426 - 5427**

 Ultra-high-sensitivity HDTV I.I. color camera (NHK)  
 Exp. 22 sec. (11 frames coadded) January 16, 1999

 Subaru Telescope, National Astronomical Observatory of Japan  
 Copyright © 1999, National Astronomical Observatory of Japan, all rights reserved